



**愛南町は
発足20周年を迎えました
『豊かな彩りと合併の記憶』**



Ainan Histry 20th anniversary



元号(西暦)	主なできごと	
平成16(2004)	10月	南宇和5力町村合併、愛南町発足 愛南町消防団発足
	1月	第1回愛南町成人式 第1回愛南町消防出初式
平成17(2005)	4月	御荘警察署が愛南警察署と名称変更 愛南町農業支援センター設置 愛南町体育協会設立
	10月	愛南漁業協同組合設立 「ぎょしょく教育」スタート
	12月	「久良の能山踊り」が県指定無形民俗文化財に指定
	平成18(2006)	3月
平成19(2007)	3月	国道56号宿毛-一本松改良事業全線(正木トンネル) 開通 僧都中学校閉校(城辺中学校に統合)
	平成20(2008)	3月
平成21(2009)	2月	町民憲章制定
	3月	中浦中学校閉校(御荘中学校に統合)
	12月	大規模林道-篠山線小岩道-鳥越区間開通
平成22(2010)	3月	深浦小学校閉校(城辺小学校に統合)
	5月	第1回愛南びやびや祭り開催
平成23(2011)	2月	うまいもん市inあいなん開催
	3月	節崎バイパス開通 愛南町情報通信基盤整備事業完成 満倉小学校閉校(一本松小学校に統合) 西浦小学校閉校(船越小学校に統合) 西海・福浦中学校閉校(御荘中学校に統合)
	6月	愛南町議会テレビ中継開始
	平成24(2012)	3月
平成25(2013)	3月	旧養護老人ホーム「南楽荘」跡地に町給食センターが完成 旧西浦小学校校舎を改築した「うみらいく愛南」完成
	8月	愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」誕生

○今年で20年目のぎょしょく教育。
ぎょしょく教育発祥の地として町内外で普及
推進事業を行ってきました。

年度	延べ人数(当年度参加者数)
平成17年	442人(442人)
平成22年	6,611人(2,635人)
平成27年	33,713人(6,077人)
令和2年	60,104人(851人)
令和5年	67,419人(3,887人)

○ふるさと納税スタートから16年。
たくさんの方がふるさと愛南町を応援してく
れています。

年度	件数・金額
平成20年	34件:2,233,000円
平成25年	2,757件:30,875,333円
平成30年	3,105件:60,302,000円
令和5年	209,581件:1,761,532,100円



元号(西暦)	主なできごと
平成26(2014)	2月 「ふるさとCM大賞えひめ」で愛南リポーターズ製作のCM「なーしくんが工場長」が大賞を受賞
	3月 菊川小学校閉校(平城小学校に統合)
平成27(2015)	3月 愛南町消防本部・消防署新庁舎完成
	7月 河内晩柑「愛南ゴールド」台湾の高級スーパーで販売促進
平成28(2016)	3月 あけぼのグラウンド改修工事(人工芝)完成
	愛南町役場新庁舎完成
	8月 あいなん未来会議2016開催 兵庫県篠山市と姉妹都市提携
平成29(2017)	9月 新庁舎開所式
	5月 「ぎゅぎゅっと愛南!夏の陣」開催
平成30(2018)	10月 えひめ国体女子サッカー競技開催、絢子女王来町
	3月 中浦小学校閉校(平城小学校に統合)
平成31(2019)	4月 御荘文化センターで「NHKのど自慢」公開生放送
	7月 豪雨発生で一本松地域をはじめ町内で甚大な被害
	10月 「伊予遍路道観自在寺道」が国史跡指定
	11月 南高文化祭で町テーマソング「ビヤビヤ★ロック」初披露
	12月 御荘夢創造館イメージキャラクター「ゆめちゃん」誕生
	3月 東海小学校閉校(城辺小学校に統合)
令和3(2021)	4月 新型コロナ緊急事態宣言発令により行事など多数中止 新型コロナ感染拡大を受け「愛南応援プロジェクト」設立
	5月 「テイクアウトAINAN半額キャンペーン」実施
	4月 町ブランディングロゴマークおよびキャッチコピー完成 東京2020オリンピック聖火リレー開催
令和4(2022)	3月 僧都小学校閉校(城辺小学校に統合)
	4月 国道56号宿毛内海道路「宿毛新港〜一本松」 「御荘〜内海」新規事業化
	7月 河内晩柑「misho」欧州初出荷 ぎょしょく伝道師育成事業開始
令和5(2023)	8月 愛南マラニック〜食と海と太陽と〜 初開催
	4月 水産課に海業推進室設置
	5月 河内晩柑「misho」販路拡大に向け欧州でトップセールス
令和6(2024)	6月 第10回愛南町いやしの郷トライアスロン大会開催
	7月 全国初となる「海業推進会議」開催
	10月 ねんりんピック愛顔のえひめ2023 将棋交流大会開催 モンベル製通学カバン「わんパック」贈呈式
	3月 愛南シクロクロスin長洲園地 初開催 内海中学校閉校(御荘中学校に統合) 長月小学校閉校(平城小学校に統合) 久良小学校閉校(城辺小学校に統合)
	4月 国道56号宿毛内海道路「一本松〜御荘」新規事業化 企画財政課に政策推進室設置 保健福祉課に子育て支援室設置 豊後水道地震発生で震度6弱を観測
	6月 「平城貝塚」が国の文化審議会より国史跡指定の答申 8月 テレビドラマ「笑うマトリョーシカ」に石垣の里が登場 10月 合併20周年を迎える



これまでも、これからもずっと 大好き愛南町!!

Happy 20
BIRTHDAY

20年前「広報あいなん」の創刊号を飾った皆さまから、メッセージをいただきました。

当時、小学生だった方も社会人として働いていたり、高校生だった方も結婚していたり・・・

立場や住む場所が変われど、共通していたのは、生まれ育った愛南町が大好きなこと!!



①左上 田原紫音さん
合併20周年おめでとうございます。

20年たち、私は妹2人と一緒に東京都で頑張っています。頻繁には帰れないけれど、愛南町がずっと大好きで自慢の地元です♥

⑨右 渡邊万理恵さん(旧姓:加藤)

20年前に取材を受けた当時のことは覚えていませんが、20年たっても変わらないことは、梶原製菓の苺大福が美味しいこと。

20年目の愛南町に対しての思いは、九州からのフェリーを運行してほしい。

過去の自分には「もっと英語を勉強しておいてね。外国に行くときに役立つし、会話ができて楽しいよ」と送りたいです。

20年後の自分には「健康で長生きしましょう」と送りたいです。

②左下 千尋さん

広報あいなんに自分が載ってビックリです!w

懐かしすぎです。

20年たち、高知県宿毛市にお嫁に行きましたが、愛南Loveなので毎週帰ってます♥

⑬高平さん親子
息子さん

掲載されているのは20年前ということで私が2歳の時に撮っていただいたものであり、とても驚きました。高校は寮生活を経験し現在、学生で一人暮らしをしています。改めて家族や地域の方々のありがたみを上京することで知る良い経験になりました。後々は愛南町に戻り、地域活動に参加し、少しでも愛南町のために活動していけるような人になりたいと思います。

⑬高平さん親子
ゆかさん

20年前の写真!息子も私も(いろんな意味で)成長しました。振り返ると初めての子育てに余裕がなく、両親や周りの人のおかげで乗り越えられました。当時の子育てサポート(「はまゆう」「こあら」)を利用してリフレッシュしていたことを思い出します。

現在は子どもたちも親元を離れ生活しています。たくさんの出会いと経験をして人とのつながりを大切にしてほしいと思います。

⑩左 兵頭輝^{ひかり}さん

この度は20周年おめでとうございます！
創刊時は小学1年生だった私も、いつの間にか
社会人5年目になりました。今は県外で働いてい
ますが、やっぱり愛南町が一番安心する大切な故
郷です。愛南町大好き！

⑩右 H.I.さん

この写真を見て、真っ黒になるまで毎日走り回っ
ていたことを思い出しました(笑)
私は今現在、愛南町で働いていますが、昔と変わ
らずみんな優しくて温かい場所で大好きです。20年
後もそんな場所であってほしいなと思います！

⑪中段左 中野友貴^{ゆうき}さん

懐かしい皆との写真！
愛南を離れて10年以上たち
ますが、故郷の情景や思い出が
忘れられず帰郷する計画を立
てています。!!笑
いざ、愛南を全国へ!!



⑪島内里香^{りか}さん

この写真の頃と同じ場所で、今仕事
をしています。
これまでに会ったたくさん子ども
たち、懐かしく思い出します。出会ったこ
とに感謝しています。
温かで豊かな人と環境の愛南町で、
ずっとあり続けてほしいです。

⑫左 中川裕太^{ゆうた}さん

現在、愛南町を離れ熊本県で過ごしてます。20年
たち、結婚し子どもができました。今でもずっと変わ
らない温かな帰る場所があることはとても幸せです。
内海中学校が閉校になったことは寂しいですが
人々や自然がこのまま変わらず残ってほしいです。

⑫右 織田有^{ゆうと}人さん

毎日会っていたこの時の同級生も今ではなかな
か会えないようになりました。
この時は毎日が楽しかったです。
みんな各地で頑張っていると思いますが、また
愛南町でみんなと会える日を楽しみにしています。



メッセージをお寄せいただ
いた皆さま、ありがとうございます。
ました。

※名前(フルネーム、イニシャル等)の掲載に対し、了承
をいただいております。

⑬中央 山中広樹^{ひろき}さん

創刊号に映る自分と子どもたちを懐かしく思う
と同時に20年たった当時の子どもたちが社会で
活躍する姿を思い浮かべています。今年還暦を
迎え、教師として良い時を刻むことができたことに
感謝しています。

「広報あいなん」は、町民の皆さまに愛され、次
号を待ち遠しく思う町民広報大賞であり、貴重な
歴史書であると思います。担当者の方々の努力
に深く感謝し、大いなる期待を寄せています。

